

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

インナートリップ

南九州は梅雨入り宣言がありました。ものが潰える(ついえる)本格的な長雨の時期の到来も、そう遠くないことだと思います。

動物の生活のTV番組を見てみると、ある時期になると、親が子どもを追い立て、子どもは否応なく親の元を離れ一人で生きていくようになります。一見残酷にも感じます。

さて、中学生は、時々「自分は何者?」と考えることある年齢です。もう少し年齢が上がると、「自分はどこから来て、どこに行くのだから?」とか「生きる」とは「な」と考え出します。

なぜこんな時期を自然は作ったのでしょうか。それは、やり方は違いますが、人間も他の動物も『**独り立ち**』のためではないでしょうか。独り立ちのためには自分を知ることが必要。前も書きましたが、人には三つの自分があります。

「自分が知っている自分」

「他の人が知っている自分」

そして、「誰も知らない自分」です。

自分の知る自分を高め、人の知る自分を受け入れ、まだ出会わない自分を探す。

この繰り返しの中で、人は成長し、自立していくものだと思います。

特に、中学校から高校にかけての時期は、「自分探し」を続ける絶好の時期です。

フクフクするような、「未知の自分との出会い」を求めて、**インナートリップ**(自分の内面への旅)を一生続けられる人って、とても素敵だとは思いませんか?

〈広報KOBAYASHIより〉

読まれた方も多いとは思いますが、広報KOBAYASHIの5月号に、小林市の本年度の予算関係の記事が掲載されていました。特に小中学生に関係のあるものを紹介します。

- 1 子育てに関する知識や心構えを掲載した保護者用テキストの作成、配付
- 2 小学校5・6年と中学生を対象に、将来に夢を見つけるきっかけ作りとして、外国語や医療などの分野を体験する講座、地域ぐるみで親子のふれあいや絆づくりを深める体験活動などを実施する団体の支援
- 3 小林地区の小学校・須木地区の小中学校・都城きりしま支援学校小学部への学校給食の提供
- 4 市内全小学校でデジタル教科書を導入し、ICT教育環境を充実させ、グローバル社会に対応できる子どもの育成をめざす
- 5 小中学校の児童生徒がいる家庭の経済的負担を軽減するため、商品券(2万円/人)を配付

〈キャリア教育の視点とは 3〉

前回書きました、今のキャリア教育で「子どもたちに身に付けさせたい4つの能力」を育成するために、須木中学校では次のような取組をしていきたいと考えています。

- ◇ 学校での学習を「実生活(社会生活)」と結びつけて、リアリティのあるものにする。
 - ・ この学習は、将来・・・なことに役立つんだよ。 など
- ◇ 自分の社会的役割を伝え続ける。
 - ・ 皆さんのあいさつで、地域の方々には元気をもらえます。 など
- ◇ 子どもの自発的な発想をうながし、主体性をもって活動させる。
 - ・ 生徒会活動の企画・運営 など
- ◇ 学級の係活動などを責任をもってさせる。
- ◇ コミュニケーション能力を身に付けさせる。
 - ・ 教科の授業や学級活動、生徒会の話し合いや行事などで設定する。 など
- ◇ 学年に応じた進路指導を充実させる。

